

令和 年 月 日

茨城県知事 殿

令和7年度茨城県私立高校生等奨学給付金  
(専攻科の生徒への奨学のための給付金) 受給申請書

○次の4点を確認の上、□にレ点を付けてください。

- ☐ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- ☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、茨城県の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☐ 私は茨城県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
- ☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

高校生等専攻科の生徒への奨学のための給付金の受給を申請します。

申請者住所等	〒	ふりがな	
	【携帯】TEL (    )    — 【自宅】TEL (    )    —	申請者氏名	
高校生等との関係	生計維持者（父母）・生計維持者（父母以外）・生徒本人 ・ その他（                      ）		

※日中に連絡が取れる携帯電話等の番号を記載してください。申請書の内容について確認させていただく場合があります。

【対象となる生徒について】

ふりがな			生年月日	昭和 平成	年	月	日
氏名							
在学する学校	学校の名称	国立 ・ 公立 ・ 私立					
		学校の種類・課程・学科：					
	学校の所在地	都道府県                      市区町村					
	在学期間	年 月 日 ～ 年 月 日			学校の種類・課程・学科 <b>高等学校（専攻科）</b>		
過去の高等学校等における在学期間	学校名 立	～	年 月 日 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数		
					なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □		
	学校名 立	～	年 月 日 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数		
					なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □		

ふりがな			生年月日	昭和 平成	年	月	日
氏名							
在学する学校	学校の名称	国立 ・ 公立 ・ 私立					
		学校の種類・課程・学科：					
	学校の所在地	都道府県                      市区町村					
	学校設置者の名称						
在学期間	年 月 日 ～ 年 月 日			学校の種類・課程・学科			
過去の高等学校等における在学期間	学校名 立	～	年 月 日 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数		
					なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □		
	学校名 立	～	年 月 日 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数		
					なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □		

・備考欄 （その他連絡について、要望等あれば記載して下さい。）

# 記入例

基準日（7月1日）以降の申

令和 年 月 日

## 【注意】

消せるボールペンでは記入しないこと。

令和7年度茨城県私立高校生等奨学給付金  
（専攻科の生徒への奨学のための給付金）受給申請書

○次の4点を確認

- ☒ この申請書
- ☒ この申請書
- ☒ 私は茨城県以外の茨城県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費

ご確認のうえチェックボックスに  
必ず☑を入れて下さい。

のために従いその全額を即時返還します。

（母子生活支援施設の高校生等を除く）

保護者等の住所・氏名を記入して下さい。保護者等がない場

高校生等奨学給付金の受給を申請しま

申請者住所等	〒〇〇〇—〇〇〇〇 茨城県水戸市笠原町〇—〇	ふりがな	いばらき いちろう
	【携帯】Tel ( ) 【自宅】Tel ( )	申請者氏名	茨城 一郎
高校生等との関係	生計維持者（父母）・生計維持者（父母以外）	申請書類について確認する場合がありますので、日中連絡の付く連絡先を記載して下さい。その他連絡について、要望等があれば備考欄	

※日中に連絡が取れる携帯電話等の番号を記載してください。申請書の内

【対象となる生徒等について】

ふりがな	いばらき たろう	生年月日	昭和 〇 年 〇 月 〇 日
氏名	茨城 太郎		平成 〇 年 〇 月 〇 日
在学する学校	学校の名称	〇〇高等学校	
		国立 ・ 公立 ・ 私立	
	学校の種類・課程・学科	①高等学校（全日制）	
	学校の所在地	茨城 都道府県 〇〇 市区町村 〇〇—〇〇	
	在学期間	平成〇〇年〇月〇日 ～ 令和〇〇年〇月〇日	学校の種類・課程・学科 高等学校（専攻科）
過去の高等学校等における在学期間	学校名	△△立△△高等学校	学校の種類・課程・学科
		年 月 日 ～ 年 月 日	在学中に給付金を受給した回数
			なし 1回 2回 3回 4回 不明
			<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	学校名	過去に在籍した高校等が有る場合記入して下さい。	学校の種類・課程・学科
		年 月 日 ～ 年 月 日	在学中に給付金を受給した回数
			なし 1回 2回 3回 4回 不明
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>

ふりがな		生年月日	昭和 年 月 日
氏名			平成 年 月 日
在学する学校	学校の名称	国立 ・ 公立 ・ 私立	
		学校の種類・課程・学科：	
	学校の所在地	都道府県	市区町村
	学校設置者の名称		
	在学期間	年 月 日 ～ 年 月 日	学校の種類・課程・学科
過去の高等学校等における在学期間	学校名	立	学校の種類・課程・学科
		年 月 日 ～ 年 月 日	在学中に給付金を受給した回数
			なし 1回 2回 3回 4回 不明
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	学校名	立	学校の種類・課程・学科
		年 月 日 ～ 年 月 日	在学中に給付金を受給した回数
			なし 1回 2回 3回 4回 不明
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

・備考欄 （その他連絡について、要望等あれば記載して下さい。）

様式第1－2号【通常様式】

【令和7年7月1日現在の生計維持者の収入の状況について】（該当する□にレ印を付けてください。）  
（1）生活保護法（昭和25年法律第144号）第30条の規定による生活扶助を受給していること  
が分かる証明書を提出します

<input type="checkbox"/>	生活扶助を受給していることが分かる証明書
--------------------------	----------------------

（2）次の者の課税証明書等を提出します。

①	<input type="checkbox"/>	生計維持者（両親等）2名分 生徒に父母がいる場合、もしくは父母に代わり生計を維持する者が2名いる場合
②	<input type="checkbox"/>	生計維持者1名分 当該世帯がひとり親の場合、もしくは父母に代わり生計を維持する者が1名いる場合
③	<input type="checkbox"/>	生徒本人 様式1-3号内の「生計維持者とは」に記載される②のうち（1）～（4）の条件を満たす場合

# 記入例

該当する□にレ印を付けてください。）

(1) 生  
一 等 就 学 扶 助 金

【注意】

6条の規定による生業扶助（高等学校提出します。

☐ 生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることが分かる証明書

(2) 次の者の課税

該当するチェックボックスに必ず☑を入れて下さい。

- |   |                          |   |
|---|--------------------------|---|
| ① | <input type="checkbox"/> | 生計維持者（両親等）2名分<br>生徒に父母がいる場合、もしくは父母に代わり生計を維持する者が2名いる場合 |
| ② | <input type="checkbox"/> | 生計維持者1名分<br>当該世帯がひとり親の場合、もしくは父母に代わ生計を維持する者が1名いる場合     |
| ③ | <input type="checkbox"/> | 生徒本人<br>様式1-3号内の「生計維持者とは」に記載される②のうち（1）～（4）の条件を満たす場合   |

※（2）に該当する場合は、下記内容を確認の上、□にレ点を付けてください。

☒ 私の世帯は、7月1日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助は受給していません。

## 記入上の注意

【対象となる高校生等について】の欄は次によって記入してください。

- イ 現在通っている学校の在学期間について、記入してください。また、過去に高等学校等に在学したことがある場合には、当該学校の在学期間についても記入してください。
- ロ 「高等学校等」とは、国公立の高等学校（専攻科を含む）、中等教育学校の後期課程（専攻科を含む）、高等専門学校（第1学年から第3学年まで）、専修学校及び各種学校のうち高等学校の課程に類する課程を置くものとして文部科学省令で定めるものをいいます。
- ハ 「過去の高等学校等における在学期間」の「学校の種類・課程・学科」の欄に「高等学校（専攻科）」以外の種類が入る場合は、「①高等学校（全日制）」、「②高等学校（定時制）」、「③高等学校（通信制）」、「④中等教育学校（後期課程）」、「⑤高等専門学校（1～3学年）」、「⑥専修学校（高等課程）昼間学科」、「⑦専修学校（一般課程）昼間学科」、「⑧専修学校（高等課程）夜間等学科」、「⑨専修学校（一般課程）夜間等学科」、「⑩専修学校（高等課程）通信制学科」、「⑪専修学校（一般課程）通信制学科」、「⑫各種学校（外国人学校）」、「⑬各種学校（その他）」の別を記入すること。

【生計維持者の収入の状況について】の欄は、次によって記入してください。

- イ 生計維持者とは、
- ①生徒に父母がいる場合  
当該父母とします。（収入の有無・多寡を問わず、両親がいる場合は両親（2名）。ひとり親等の場合は父又は母のみ）
- ②生徒に父母がいない場合又は生徒が以下の（1）～（4）に掲げる者である場合は当該生徒又は父母に代わって生計を維持する者がいる場合は、当該者とします。
- （1）満18歳となる日の前日において児童福祉法第27条第1項第3号の規定により同法第6条の4に規定する里親に委託されていた者又は同号の規定により入所措置が採られて同法第41条に規定する児童養護施設に入所していた者
- （2）満18歳となる日の前日において児童福祉法第27条第1項第3号の規定により同法第6条の3第8項に規定する小規模住居型児童養育事業を行う者に委託されていた者又は同号の規定により入所措置が採られて同法第43条の2に規定する児童心理治療施設若しくは同法第44条に規定する児童自立支援施設に入所していた者
- （3）満18歳となる日の前日において児童福祉法第6条の3第1項に規定する児童自立生活援助事業を行う者に委託されていた者
- （4）そのほか、社会的養護が必要と認められる者
- ロ 【生計維持者の収入の状況について】①に該当するときは、父母全員の課税証明書等を添付してください。
- ハ 【生計維持者の収入の状況について】①に該当するときは、必ず父母全員の状況を確認の上、記入してください。  
なお、父母の一方が行方不明、ドメスティックバイオレンス、精神疾患・意識不明で意思疎通ができない等の事情が存在する場合は「家庭の事情によりやむを得ず、父母の1人の課税証明書等を提出できない場合」として②に該当します。一方、家庭の事情によりやむを得ず、父母全員の課税証明書等を提出できない場合は、父母が存在しない場合に含まれるものとして、①又は②のうちいずれか該当するものを選択してください。
- 二 【生計維持者の収入の状況について】②又は③に該当するときは、生徒本人又は生徒の生計をその収入により維持している者（医療保険各法（注1）における扶養者等）1名分の課税証明書等を添付してください。

（注1）医療保険各法とは、健康保険法、船員保険法、国民健康保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法又は私立学校教職員共済法をいいます。

## 留意事項

- イ 過去に国公立を問わず高等学校等（修業年限が3年未満のものを除く。）又は高等学校等専攻科を卒業し又は修了したことがある場合には、奨学給付金の受給資格はありません。
- ロ 2つ以上の課程に在学している場合は、いずれか1つの課程を選んで申請をしてください。
- ハ 認定基準日現在、「児童福祉法による児童入所施設措置費等国庫負担金について（令和5年5月10日こ支家第47号）」による措置費等の支弁対象となる高校生等であって、見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。）が措置されている場合は、補助対象外となります。